

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名	一般国道180号 <small>そうじゃ いちのみや</small> 総社・一宮バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県岡山市北区櫛津 至：岡山県総社市井尻野	延長	15.9km		
事業概要 一般国道180号は、岡山県岡山市から島根県松江市までを結ぶ延長約170kmの主要幹線道路である。 総社・一宮バイパスは、岡山県南部の中央に位置し、岡山市北区櫛津と総社市井尻野を結ぶ延長15.9kmのバイパス事業である。 事業目的は、一般国道180号の岡山市北区櫛津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等である。					
S48年度事業化		S63年度都市計画決定		H元年度用地着手	
H元年度工事着手					
全体事業費	約580億円	事業進捗率	50%	供用済延長	4.9km
		(令和2年3月末時点)			
計画交通量	13,700~37,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C：(3便益) (事業全体) 2.1 (残事業) 5.5	総費用： (残事業)/ (事業全体) 280 / 742 億円 事業費：212/654億円 維持管理費：68/88億円	総便益： (残事業)/ (事業全体) 1,545/1,586億円 (走行時間短縮便益：1,326/1,368億円) (走行費用減少便益：166/164億円) (交通事故減少便益：53/54億円)	基準年： 令和2年	
感度分析の結果 (事業全体) 交通量変動：B/C=1.9~2.5(交通量±10%) (残事業) B/C=4.8~6.4(交通量±10%) 事業費変動：B/C=2.1~2.2(事業費±10%) B/C=5.1~6.0(事業費±10%) 事業期間変動：B/C=2.0~2.3(事業期間±20%) B/C=5.1~6.0(事業期間±20%)					
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待される。 ・混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・国道180号現道を利用するバスの定時性向上が期待される。 ・総社市から岡山駅（新幹線駅）へのアクセス向上が期待される。 ・総社市から岡山空港（第三種空港）へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・総社市から岡山港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される。 ③都市の再生 ・広域道路整備基本計画に位置付けのある環状道路（岡山環状道路）の一部を形成する。 ④国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路（岡山環状道路）の位置づけられている。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される。（総社市一岡山市） ⑤個性ある地域の形成 ・吉備路・備中国分寺（H30観光入込客数：約148万人）、総社・宝福寺（H30年観光入込客数：約27万人）へのアクセス向上が期待される。 ⑥災害への備え ・第一次緊急輸送道路に位置付けられている。 ・緊急輸送道路である国道180号が通行止めになった場合の代替路線を形成する。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される。					

⑧生活環境の改善・保全

- ・ NOX排出量の削減が期待される。
- ・ SPM排出量の削減が期待される。

⑨他プロジェクトとの関係

- ・ 国道180号岡山西バイパス（西長瀬～檜津）(R2年度事業化)、岡山環状南道路（H21年度事業化・R6年度開通予定）と一体的に整備する必要がある。
- ・ 岡山県新晴れの国おかやま生き生きプラン（H29.3）において「企業誘致・投資促進プログラム」の重点施策「交通基盤整備」に位置づけられている。
- ・ 岡山市第六次総合計画前期中期計画（H29.3）において「人と環境にやさしい交通ネットワークの構築」の重点施策「道路ネットワークの充実・強化」に位置づけられている。
- ・ 総社市第二次総合計画（H28.3）において「地域の均衡ある発展」を図るための路線として位置づけられている。

関係する地方公共団体等の意見

◇岡山県知事の意見：一般国道180号総社・一宮バイパスの対応方針(原案)に対して、妥当である。
一般国道180号の交通渋滞の緩和が図られるとともに、交通事故件数の削減や安全な歩行空間の形成、高速ICアクセス改善による物流効率化支援等にも資する重要な道路であることから、本事業の早期完成が必要である。

◇岡山市長の意見：一般国道180号総社・一宮バイパスの対応方針(原案)に対して、異議ありません。
一般国道180号 総社・一宮バイパスは、岡山市の外環状線の一部を構成するとともに、吉備スマートICを経由し山陽自動車道と接続することにより、岡山市中心市街地の渋滞緩和や産業活動の拡大に大きく寄与する重要な道路であるため、早期供用に向けて整備促進を要望します。

事業評価監視委員会の意見

- ・ 事業者からの各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次の通り意見の取りまとめを行った。
- ・ 審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- 事業区間沿線の文化財が日本遺産に認定された。
- 一般国道180号岡山西バイパス（西長瀬～檜津）延長3.5kmが新規事業化。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和2年3月末時点で、事業全体の進捗率は50%、用地の進捗率は45%である。
現在までに岡山市北区福崎～総社市総社までの3.4kmおよび、岡山市北区檜津～岡山市北区一宮山崎までの1.5kmが開通している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、引き続き早期全線開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進していく。

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。